



AppMirror (アプリケーションミラー) Astra Automation

NetApp
September 02, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/astra-automation-2310/reference/appmirror_endpoints.html on September 02, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

AppMirror（アプリケーションミラー）	1
Astra API（ACC）AppMirrorエンドポイント	1
新しいAppMirrorリソースを作成する	1
パラメータ	1
要求の本文	1
応答	4
応答	16
応答	16
応答	17
応答	17
エラー	18
用語の意味	18
すべてのAppMirrorリソースを表示	21
パラメータ	21
応答	22
応答	28
応答	29
応答	29
エラー	30
用語の意味	30
AppMirrorリソースを取得する	42
パラメータ	42
応答	42
応答	53
応答	53
応答	54
エラー	55
用語の意味	55
AppMirrorリソースを変更する	58
パラメータ	58
要求の本文	58
応答	67
応答	67
応答	68
応答	69
応答	69
エラー	70
用語の意味	70
AppMirrorリソースを削除します	73

パラメータ	74
応答	74
応答	74
応答	74
応答	75
エラー	76
用語の意味	76
アプリ用の新しいAppMirrorリソースを作成します	76
パラメータ	76
要求の本文	77
応答	80
応答	92
応答	92
応答	93
応答	93
エラー	94
用語の意味	94
アプリのAppMirrorリソースを一覧表示します	97
パラメータ	97
応答	98
応答	104
応答	105
応答	105
エラー	106
用語の意味	106
アプリのAppMirrorリソースを取得する	118
パラメータ	118
応答	118
応答	129
応答	129
応答	130
エラー	131
用語の意味	131
アプリのAppMirrorリソースを変更する	134
パラメータ	134
要求の本文	134
応答	143
応答	143
応答	144
応答	145
応答	145

エラー	146
用語の意味	146
アプリのAppMirrorリソースを削除します	149
パラメータ	150
応答	150
応答	150
応答	150
応答	151
エラー	152
用語の意味	152

AppMirror（アプリケーションミラー）

Astra API（ACC）AppMirrorエンドポイント

AppMirror API を使用すると、AppMirror 関係を管理できます。

新しいAppMirrorリソースを作成する

POST /accounts/{account_id}/k8s/v1/appMirrors

作成される AppMirror API リソースの希望する値を示します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path（パス）	True	包含するアカウントリソースのID • 例：{{.Account}}

要求の本文

作成される AppMirror API リソースの希望する値を示します。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • 「application/astra-appMirror」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1"
sourceAppID	string	True	ソースアプリケーションの識別子。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新されます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
デスティネーション クラスタ ID	string	True	デスティネーション アプリケーションをホストする管理対象クラスタの識別子。作成時に必ず指定する必要があります。これは、デスティネーション アプリケーションが作成されるクラスタを決定するためです。更新時に指定される場合、デスティネーション アプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。そのため、sourceAppID と destinationAppID を入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： • Astra 識別子スキーマに準拠
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	宛先アプリケーションを作成する際に使用する名前空間（または複数の名前空間）。これは、ソースアプリケーションの名前空間に対応します。各 JSON オブジェクトには「clusterID」と「namespaces」というフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタの JSON 文字列 ID で、「namespaces」の値は JSON 文字列の JSON 配列です。各クラスタには必ず 1 つの JSON オブジェクトが存在し、名前空間はインデックスによって関連付けられます。指定しない場合は、ソース クラスタの同じ名前空間がデスティネーション クラスタで使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：2

Name	を入力します	必須	説明
storageClasses	配列["storageClasses"]	False	新しい永続ボリューム要求（PVC）を作成するときにデスティネーションクラスタで使用されるストレージクラス。各JSONオブジェクトには「clusterID」と「storageClassName」のフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON文字列IDで、「storageClassName」はそのクラスタでPVCを作成する際に使用するストレージクラスです。指定されていない場合、またはクラスタに対して値が欠落している場合は、そのクラスタにはデフォルトのストレージクラスが使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：2
stateDesired	string	True	関係の望ましい状態。作成時に有効な値は「established」のみです。定義された値は次のとおりです： • 「established」 - 関係が作成されます。 • 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが完了しました。 • 「削除済み」 - 関係性は正常にクリーンアップされ、削除されました。

Name	を入力します	必須	説明
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	False	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-appMirror",
  "version": "1.1",
  "sourceAppID": "efd639b6-fc92-4112-8841-0c0ab7890ae0",
  "destinationClusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
  "stateDesired": "established"
}
```

応答

Status: 201, Returns the newly created appMirror resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： 「application/astra-appMirror」

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1"
ID	string	True	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
sourceAppID	string	True	ソースアプリケーションの識別子。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新されます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
sourceClusterID	string	True	ソースアプリケーションをホストしている管理対象クラスタの識別子。このフィールドは読み取り専用であり、ソースアプリケーションのホストクラスタに基づいて決定されます。アップデートで提供される場合、ソースアプリケーションのクラスタIDと一致する必要があるため、sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
destinationAppID	string	False	デスティネーション アプリケーションの識別子。作成時に指定することはできません。なぜなら、関係の初期化の一環として新しいアプリIDが生成されるからです。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新可能です。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
デスティネーション クラスタ ID	string	True	デスティネーション アプリケーションをホストする管理対象クラスタの識別子。作成時に必ず指定する必要があります。これは、デスティネーション アプリケーションが作成されるクラスタを決定するためです。更新時に指定される場合、デスティネーション アプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。そのため、sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	宛先アプリケーションを作成する際に使用する名前空間（または複数の名前空間）。これは、ソースアプリケーションの名前空間に対応します。各 JSON オブジェクトには「clusterID」と「namespaces」というフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタの JSON 文字列 ID で、「namespaces」の値は JSON 文字列の JSON 配列です。各クラスタには必ず 1 つの JSON オブジェクトが存在し、名前空間はインデックスによって関連付けられます。指定しない場合は、ソース クラスタの同じ名前空間がデスティネーション クラスタで使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：2

Name	を入力します	必須	説明
storageClasses	配列["storageClasses"]	False	新しい永続ボリューム要求（PVC）を作成するときにデスティネーションクラスタで使用されるストレージクラス。各JSONオブジェクトには「clusterID」と「storageClassName」のフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON文字列IDで、「storageClassName」はそのクラスタでPVCを作成する際に使用するストレージクラスです。指定されていない場合、またはクラスタに対して値が欠落している場合は、そのクラスタにはデフォルトのストレージクラスが使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：2

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	関係の状態。定義された値は次のとおりです： • 「establishing」 - 関係が構築されつつある。 • 「established」 - 関係が作成されます。 • 「failingOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが進行中です。 • 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが完了しました。 • 「削除中」 - 関係によって作成されたリソースがクリーンアップされています。 • 「削除済み」 - 関係が整理され、削除されました。
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： • 「establishing」 ：「established」、 「deleting」 • "established" ： "failingOver"、 "deleting" • "failingOver" ： "failedOver"、 "deleting" • "failedOver" ： "establishing"、 "deleting" • "deleting"： "deleted" • 「削除済み」：

Name	を入力します	必須	説明
stateDesired	string	True	関係の望ましい状態。作成時に有効な値は「established」のみです。定義された値は次のとおりです： 「established」 - 関係が作成されます。 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが完了しました。 「削除済み」 - 関係性は正常にクリーンアップされ、削除されました。
stateAllowed	array[string]	False	特定の状態で要求できる状態。各定義済み状態において、以下の状態を要求することができます： 「establishing」 ：「established」、 「deleted」 "established" ： "failedOver"、 "deleted" "failingOver" ： "failedOver"、 "deleted" "failedOver": "established"、 "deleted" "deleting"： "deleted" "deleted"： "削除済み"
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
transferState	string	False	現在または直近のスナップショット転送の状態。定義された値は次のとおりです： 「転送中」 - 新しいスナップショットが作成され、現在デステーション クラス タにレプリケートされています。この状態には、以前の試行で失敗し、継続的に再試行されている転送も含まれます。 「idle」 - 現在、転送処理は行われていません。
transferStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： "transferring": "idle" "idle": "transferring"
transferStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
healthState	string	True	リソースの健全性状態。定義された値は次のとおりです： • 「不確定」 - リソースの状態を判断できません（例えば、接続不良のため） • 「normal」 - リソースに既知の問題はなく、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できます。 • 「警告」：このリソースには既知の問題がありますが、インターフェース仕様に従ってサービスを提供することに支障はありません。 • 「重大」 - リソースに既知の問題があり、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できない
healthStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	True	特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： • "indeterminate" ： "normal"、"warning"、"critical" • "normal" ： "indeterminate"、"warning"、"critical" • "warning" ： "indeterminate"、"normal"、"critical" • "critical" ： "indeterminate"、"normal"、"warning"

Name	を入力します	必須	説明
healthStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-appMirror",
  "version": "1.1",
  "id": "512c8dac-b7d4-5be9-836e-ee672965866a",
  "sourceAppID": "efd639b6-fc92-4112-8841-0c0ab7890ae0",
  "sourceClusterID": "5789e026-c2e2-41e9-ab00-9766bcfa8951",
  "destinationAppID": "cd7b6d91-fc19-4983-a754-9a7bb4d80a7b",
  "destinationClusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
  "state": "establishing",
  "stateTransitions": [
    {
      "from": "establishing",
      "to": [
        "established",
        "deleting"
      ]
    }
  ]
}
```

```

    },
    {
      "from": "established",
      "to": [
        "failingOver",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "failingOver",
      "to": [
        "failedOver",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "failedOver",
      "to": [
        "establishing",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "deleting",
      "to": [
        "deleted"
      ]
    }
  ],
  "stateDesired": "established",
  "stateAllowed": [
    "deleted"
  ],
  "stateDetails": [
    {
      "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/3",
      "title": "AppMirror is being established",
      "detail": "The AppMirror relationship is in the process of being
established."
    }
  ],
  "healthState": "warning",
  "healthStateTransitions": [
    {
      "from": "indeterminate",
      "to": [

```

```

        "normal",
        "warning",
        "critical"
    ]
},
{
    "from": "normal",
    "to": [
        "indeterminate",
        "warning",
        "critical"
    ]
},
{
    "from": "warning",
    "to": [
        "indeterminate",
        "normal",
        "critical"
    ]
},
{
    "from": "critical",
    "to": [
        "indeterminate",
        "normal",
        "warning"
    ]
}
],
"healthStateDetails": [
    {
        "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/4",
        "title": "AppMirror not yet established",
        "detail": "The relationship is in the process of being
established, so it's not protecting the app data yet."
    }
],
"metadata": {
    "labels": [],
    "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディ フィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

```
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with
an idempotent value.",
  "status": "409"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",

```

```
"detail": "The requested operation isn't permitted.",
"status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	名前空間が指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
ネームスペース	array[string]	False	クラスタで使用するネームスペースのリスト。インデックスによって他のクラスタのネームスペースリストと関連付けられます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
ロール	string	False	この名前空間定義の初期の役割。このパラメータは、同一クラスタレプリケーション構成を使用する場合を除き、オプションです。定義された値は次のとおりです： • "ソース" • "デスティネーション"

storageClasses

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	ストレージクラスが指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
storageClassName	string	False	「clusterID」で指定されたクラスタ上でPVCを作成する際に使用するストレージクラスの名前。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：255

Name	を入力します	必須	説明
ロール	string	False	このストレージクラス定義の初期ロール。このパラメータは、同一クラスタレプリケーション構成を使用する場合を除き、オプションです。定義された値は次のとおりです： • "ソース" • "デスティネーション"

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列[" type_astra_label "]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

type_astra_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

すべてのAppMirrorリソースを表示

GET /accounts/{account_id}/k8s/v1/appMirrors

コレクション内の一致するすべてのリソースのJSON配列を返します。リクエストで個別のフィールドが指定されている場合、アイテムのJSON配列には、一致する各リソースに対して要求されたフィールドが、指定された順序で含まれます。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}

Name	を入力します	入力	必須	説明
含める	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、どのフィールドを返すかを指定します。 URLの例 ： "include=id"、 "include=id,name" OpenAPI の例： "id"
制限（ Limit ）	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に返されるリソースの最大数を示します。 URLの例： "limit=2" OpenAPI の例： "2"
フィルタ	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、リソースを返すためにどのフィールドを一致させる必要があるかを示します。 サポートされているオペレータは次のとおりです： • eq - 等号 • lt/gt - より小さい/より大きい • lte/gte - 以下/以上 URLの例 ： "filter=field%20eq%20%27value%27" OpenAPI の例 ： 「field eq 'value'」

応答

Status: 200, Returns a JSON array of all matching resources in the collection. If individual fields are specified in the request, the items JSON array will contain the fields requested for each matching resource in

the order specified.

Name	を入力します	必須	説明
項目	配列[いずれか : "appMirror_1.1_get_res ponse_body"、配列[]]	True	
メタデータ	"type_astra_metadata_list "	True	

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-appMirrors",
  "version": "1.1",
  "items": [
    {
      "type": "application/astra-appMirror",
      "version": "1.1",
      "id": "f1c98c2e-6391-42d3-8b21-3e75dac048a3",
      "sourceAppID": "efd639b6-fc92-4112-8841-0c0ab7890ae0",
      "sourceClusterID": "5789e026-c2e2-41e9-ab00-9766bcfa8951",
      "destinationAppID": "cd7b6d91-fc19-4983-a754-9a7bb4d80a7b",
      "destinationClusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
      "namespaceMapping": [
        {
          "clusterID": "5789e026-c2e2-41e9-ab00-9766bcfa8951",
          "namespaces": [
            "ns1-src",
            "ns2-src"
          ]
        },
        {
          "clusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
          "namespaces": [
            "ns1-dest",
            "ns2-dest"
          ]
        }
      ],
      "state": "established",
      "stateTransitions": [
        {
          "from": "establishing",
          "to": [
            "established",
```

```

        "deleting"
    ]
},
{
    "from": "established",
    "to": [
        "failingOver",
        "deleting"
    ]
},
{
    "from": "failingOver",
    "to": [
        "failedOver",
        "deleting"
    ]
},
{
    "from": "failedOver",
    "to": [
        "establishing",
        "deleting"
    ]
},
{
    "from": "deleting",
    "to": [
        "deleted"
    ]
}
],
"stateDesired": "established",
"stateAllowed": [
    "failedOver",
    "deleted"
],
"stateDetails": [
    {
        "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/1",
        "title": "AppMirror relationship established",
        "detail": "The AppMirror relationship has been successfully
established."
    }
],
"healthState": "normal",
"healthStateTransitions": [

```

```

    {
      "from": "indeterminate",
      "to": [
        "normal",
        "warning",
        "critical"
      ]
    },
    {
      "from": "normal",
      "to": [
        "indeterminate",
        "warning",
        "critical"
      ]
    },
    {
      "from": "warning",
      "to": [
        "indeterminate",
        "normal",
        "critical"
      ]
    },
    {
      "from": "critical",
      "to": [
        "indeterminate",
        "normal",
        "warning"
      ]
    }
  ],
  "healthStateDetails": [
    {
      "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/2",
      "title": "SnapMirror syncing successfully",
      "detail": "All SnapMirror relationships are synchronizing as
expected."
    }
  ],
  "metadata": {
    "labels": [],
    "creationTimestamp": "2020-08-06T12:24:52.256624Z",
    "modificationTimestamp": "2020-08-06T12:24:52.256624Z",
    "createdBy": "11c0cfa1-4f27-4ef7-a21c-cb452fc5c9aa"
  }
}

```

```

    }
  },
  {
    "type": "application/astra-appMirror",
    "version": "1.1",
    "id": "114633f0-5b59-4bd7-adce-a9ba4423a1bd",
    "sourceAppID": "eaf8b854-211d-460a-ac18-d093d8e2ac70",
    "sourceClusterID": "fcb27b51-ebb7-40ca-b8f1-1d23ebd06889",
    "destinationAppID": "e829c5e0-750f-44ad-a684-ae85be2c2bb",
    "destinationClusterID": "fcb27b51-ebb7-40ca-b8f1-1d23ebd06889",
    "namespaceMapping": [
      {
        "clusterID": "fcb27b51-ebb7-40ca-b8f1-1d23ebd06889",
        "namespaces": [
          "app-namespace"
        ],
        "role": "source"
      },
      {
        "clusterID": "fcb27b51-ebb7-40ca-b8f1-1d23ebd06889",
        "namespaces": [
          "destination-app-namespace"
        ],
        "role": "destination"
      }
    ],
    "storageClasses": [
      {
        "storageClassName": "destination-sc",
        "clusterID": "fcb27b51-ebb7-40ca-b8f1-1d23ebd06889",
        "role": "destination"
      }
    ],
    "state": "established",
    "stateTransitions": [
      {
        "from": "establishing",
        "to": [
          "established",
          "deleting"
        ]
      },
      {
        "from": "established",
        "to": [
          "failingOver",

```

```

        "deleting"
    ]
},
{
    "from": "failingOver",
    "to": [
        "failedOver",
        "deleting"
    ]
},
{
    "from": "failedOver",
    "to": [
        "establishing",
        "deleting"
    ]
}
],
"stateDesired": "established",
"stateAllowed": [
    "failedOver",
    "deleted"
],
"stateDetails": [],
"transferState": "idle",
"transferStateTransitions": [
    {
        "from": "transferring",
        "to": [
            "idle"
        ]
    },
    {
        "from": "idle",
        "to": [
            "transferring"
        ]
    }
],
"transferStateDetails": [
    {
        "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/24",
        "title": "Snapshot replication completed",
        "detail": "A snapshot was replicated to the destination.",
        "additionalDetails": {
            "completionTime": "2023-07-06T22:46:39Z",

```

```

        "snapshotID": "ae60820d-e963-4eab-8bb3-9159e9f012f0",
        "startTime": "2023-07-06T22:46:08Z"
      }
    ],
    "healthState": "normal",
    "healthStateTransitions": [],
    "healthStateDetails": [
      {
        "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/24",
        "title": "Snapshot replication completed",
        "detail": "A snapshot was replicated to the destination.",
        "additionalDetails": {
          "completionTime": "2023-07-06T22:46:39Z",
          "snapshotID": "ae60820d-e963-4eab-8bb3-9159e9f012f0",
          "startTime": "2023-07-06T22:46:08Z"
        }
      }
    ],
    "metadata": {
      "labels": [],
      "creationTimestamp": "2023-07-06T22:45:24Z",
      "modificationTimestamp": "2023-07-06T22:45:24Z",
      "createdBy": "cc420827-f968-4da7-9e72-df8a0fd52f94"
    }
  },
  "metadata": {
    "labels": [],
    "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
  }
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	名前空間が指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
ネームスペース	array[string]	False	クラスタで使用するネームスペースのリスト。インデックスによって他のクラスタのネームスペースリストと関連付けられます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
ロール	string	False	この名前空間定義の初期の役割。このパラメータは、同一クラスタレプリケーション構成を使用する場合を除き、オプションです。定義された値は次のとおりです： • "ソース" • "デスティネーション"

storageClasses

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	ストレージクラスが指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
storageClassName	string	False	「clusterID」で指定されたクラスタ上でPVCを作成する際に使用するストレージクラスの名前。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：255
ロール	string	False	このストレージクラス定義の初期ロール。このパラメータは、同一クラスタレプリケーション構成を使用する場合を除き、オプションです。定義された値は次のとおりです： • "ソース" • "デスティネーション"

type_astra_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

appMirror_1.1_get_response_body

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • 「application/astra-appMirror」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1"
ID	string	True	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
sourceAppID	string	True	ソースアプリケーションの識別子。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新されます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
sourceClusterID	string	True	ソースアプリケーションをホストしている管理対象クラスタの識別子。このフィールドは読み取り専用であり、ソースアプリケーションのホストクラスタに基づいて決定されます。アップデートで提供される場合、ソースアプリケーションのクラスタIDと一致する必要がありますがあるため、sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
destinationAppID	string	False	デスティネーションアプリケーションの識別子。作成時に指定することはできません。なぜなら、関係の初期化の一環として新しいアプリIDが生成されるからです。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新可能です。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
デスティネーション クラスタ ID	string	True	デスティネーション アプリケーションをホストする管理対象クラスタの識別子。作成時に必ず指定する必要があります。これは、デスティネーション アプリケーションが作成されるクラスタを決定するためです。更新時に指定される場合、デスティネーション アプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。ため、sourceAppID と destinationAppID を入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： • Astra 識別子スキーマに準拠
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	宛先アプリケーションを作成する際に使用する名前空間（または複数の名前空間）。これは、ソースアプリケーションの名前空間に対応します。各 JSON オブジェクトには「clusterID」と「namespaces」というフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタの JSON 文字列 ID で、「namespaces」の値は JSON 文字列の JSON 配列です。各クラスタには必ず 1 つの JSON オブジェクトが存在し、名前空間はインデックスによって関連付けられます。指定しない場合は、ソース クラスタの同じ名前空間がデスティネーション クラスタで使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：2

Name	を入力します	必須	説明
storageClasses	配列["storageClasses"]	False	新しい永続ボリューム要求（PVC）を作成するときにデスティネーションクラスタで使用されるストレージクラス。 各JSONオブジェクトには「clusterID」と「storageClassName」のフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON文字列IDで、「storageClassName」はそのクラスタでPVCを作成する際に使用するストレージクラスです。指定されていない場合、またはクラスタに対して値が欠落している場合は、そのクラスタにはデフォルトのストレージクラスが使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：2

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	関係の状態。定義された値は次のとおりです： • 「establishing」 - 関係が構築されつつある。 • 「established」 - 関係が作成されます。 • 「failingOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが進行中です。 • 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが完了しました。 • 「削除中」 - 関係によって作成されたリソースがクリーンアップされています。 • 「削除済み」 - 関係が整理され、削除されました。
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： • 「establishing」 ：「established」、 「deleting」 • "established" ："failingOver"、"deleting" • "failingOver" ："failedOver"、"deleting" • "failedOver" ："establishing"、"deleting" • "deleting" : "deleted" • 「削除済み」：

Name	を入力します	必須	説明
stateDesired	string	True	関係の望ましい状態。作成時に有効な値は「established」のみです。定義された値は次のとおりです： • 「established」 - 関係が作成されます。 • 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが完了しました。 • 「削除済み」 - 関係性は正常にクリーンアップされ、削除されました。
stateAllowed	array[string]	False	特定の状態で要求できる状態。各定義済み状態において、以下の状態を要求することができます： • 「establishing」 ：「established」、 「deleted」 • "established" ： "failedOver"、 "deleted" • "failingOver" ： "failedOver"、 "deleted" • "failedOver": "established"、 "deleted" • "deleting" : "deleted" • "deleted" : "削除済み"
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
transferState	string	False	現在または直近のスナップショット転送の状態。定義された値は次のとおりです： • 「転送中」 - 新しいスナップショットが作成され、現在デスティネーション クラスタにレプリケートされています。この状態には、以前の試行で失敗し、継続的に再試行されている転送も含まれます。 • 「idle」 - 現在、転送処理は行われていません。
transferStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： • "transferring": "idle" • "idle": "transferring"
transferStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
healthState	string	True	リソースの健全性状態。定義された値は次のとおりです： • 「不確定」 - リソースの状態を判断できません（例えば、接続不良のため） • 「normal」 - リソースに既知の問題はなく、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できます。 • 「警告」：このリソースには既知の問題がありますが、インターフェース仕様に従ってサービスを提供することに支障はありません。 • 「重大」 - リソースに既知の問題があり、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できない
healthStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	True	特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： • "indeterminate" ： "normal"、 "warning"、 "critical" • "normal" ： "indeterminate"、 "warning"、 "critical" • "warning" ： "indeterminate"、 "normal"、 "critical" • "critical" ： "indeterminate"、 "normal"、 "warning"

Name	を入力します	必須	説明
healthStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

type_astra_metadata_list

Name	を入力します	必須	説明
続行	string	False	
カウント	番号	False	
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前

Name	を入力します	必須	説明
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

AppMirrorリソースを取得する

GET /accounts/{account_id}/k8s/v1/appMirrors/{appMirror_id}

JSON レスポンスボディに保存されている AppMirror API リソースを返します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
appMirror_id	string	path (パス)	True	リストするappMirrorコレクションのID

応答

Status: 200, Returns the stored AppMirror API resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： 「application/astra-appMirror」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： "1.0" "1.1"
ID	string	True	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： UUIDv4スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
sourceAppID	string	True	ソースアプリケーションの識別子。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新されます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
sourceClusterID	string	True	ソースアプリケーションをホストしている管理対象クラスタの識別子。このフィールドは読み取り専用であり、ソースアプリケーションのホストクラスタに基づいて決定されます。アップデートで提供される場合、ソースアプリケーションのクラスタIDと一致する必要があるため、sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
destinationAppID	string	False	デスティネーションアプリケーションの識別子。作成時に指定することはできません。なぜなら、関係の初期化の一環として新しいアプリIDが生成されるからです。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新可能です。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
デスティネーション クラスタ ID	string	True	デスティネーション アプリケーションをホストする管理対象クラスタの識別子。作成時に必ず指定する必要があります。これは、デスティネーション アプリケーションが作成されるクラスタを決定するためです。更新時に指定される場合、デスティネーション アプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。そのため、sourceAppID とdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	宛先アプリケーションを作成する際に使用する名前空間（または複数の名前空間）。これは、ソースアプリケーションの名前空間に対応します。各JSON オブジェクトには「clusterID」と「namespaces」というフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON 文字列 ID で、「namespaces」の値はJSON 文字列のJSON 配列です。各クラスタには必ず1つのJSON オブジェクトが存在し、名前空間はインデックスによって関連付けられます。指定しない場合は、ソース クラスタの同じ名前空間がデスティネーション クラスタで使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：2

Name	を入力します	必須	説明
storageClasses	配列["storageClasses"]	False	新しい永続ボリューム要求（PVC）を作成するときにデスティネーションクラスタで使用されるストレージクラス。各JSONオブジェクトには「clusterID」と「storageClassName」のフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON文字列IDで、「storageClassName」はそのクラスタでPVCを作成する際に使用するストレージクラスです。指定されていない場合、またはクラスタに対して値が欠落している場合は、そのクラスタにはデフォルトのストレージクラスが使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：2

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	関係の状態。定義された値は次のとおりです： • 「establishing」 - 関係が構築されつつある。 • 「established」 - 関係が作成されます。 • 「failingOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが進行中です。 • 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが完了しました。 • 「削除中」 - 関係によって作成されたリソースがクリーンアップされています。 • 「削除済み」 - 関係が整理され、削除されました。
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： • 「establishing」 ：「established」、 「deleting」 • "established" ： "failingOver"、 "deleting" • "failingOver" ： "failedOver"、 "deleting" • "failedOver" ： "establishing"、 "deleting" • "deleting"： "deleted" • 「削除済み」：

Name	を入力します	必須	説明
stateDesired	string	True	関係の望ましい状態。作成時に有効な値は「established」のみです。定義された値は次のとおりです： 「established」 - 関係が作成されます。 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが完了しました。 「削除済み」 - 関係性は正常にクリーンアップされ、削除されました。
stateAllowed	array[string]	False	特定の状態で要求できる状態。各定義済み状態において、以下の状態を要求することができます： 「establishing」 ：「established」、 「deleted」 "established" ： "failedOver"、 "deleted" "failingOver" ： "failedOver"、 "deleted" "failedOver": "established"、 "deleted" "deleting"： "deleted" "deleted"： "削除済み"
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
transferState	string	False	現在または直近のスナップショット転送の状態。定義された値は次のとおりです： 「転送中」 - 新しいスナップショットが作成され、現在デステーション クラス タにレプリケートされています。この状態には、以前の試行で失敗し、継続的に再試行されている転送も含まれます。 「idle」 - 現在、転送処理は行われていません。
transferStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： "transferring": "idle" "idle": "transferring"
transferStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
healthState	string	True	リソースの健全性状態。定義された値は次のとおりです： • 「不確定」 - リソースの状態を判断できません（例えば、接続不良のため） • 「normal」 - リソースに既知の問題はなく、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できます。 • 「警告」：このリソースには既知の問題がありますが、インターフェース仕様に従ってサービスを提供することに支障はありません。 • 「重大」 - リソースに既知の問題があり、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できない
healthStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	True	特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： • "indeterminate" ： "normal"、"warning"、"critical" • "normal" ： "indeterminate"、"warning"、"critical" • "warning" ： "indeterminate"、"normal"、"critical" • "critical" ： "indeterminate"、"normal"、"warning"

Name	を入力します	必須	説明
healthStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-appMirror",
  "version": "1.1",
  "id": "512c8dac-b7d4-5be9-836e-ee672965866a",
  "sourceAppID": "efd639b6-fc92-4112-8841-0c0ab7890ae0",
  "sourceClusterID": "5789e026-c2e2-41e9-ab00-9766bcfa8951",
  "destinationAppID": "cd7b6d91-fc19-4983-a754-9a7bb4d80a7b",
  "destinationClusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
  "namespaceMapping": [
    {
      "clusterID": "5789e026-c2e2-41e9-ab00-9766bcfa8951",
      "namespaces": [
        "ns1-src",
        "ns2-src"
      ]
    }
  ],
}
```

```

    {
      "clusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
      "namespaces": [
        "ns1-dest",
        "ns2-dest"
      ]
    }
  ],
  "state": "established",
  "stateTransitions": [
    {
      "from": "establishing",
      "to": [
        "established",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "established",
      "to": [
        "failingOver",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "failingOver",
      "to": [
        "failedOver",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "failedOver",
      "to": [
        "establishing",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "deleting",
      "to": [
        "deleted"
      ]
    }
  ],
  "stateDesired": "established",

```

```

"stateAllowed": [
  "failedOver",
  "deleted"
],
"stateDetails": [
  {
    "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/1",
    "title": "AppMirror relationship established",
    "detail": "The AppMirror relationship has been successfully
established."
  }
],
"healthState": "normal",
"healthStateTransitions": [
  {
    "from": "indeterminate",
    "to": [
      "normal",
      "warning",
      "critical"
    ]
  },
  {
    "from": "normal",
    "to": [
      "indeterminate",
      "warning",
      "critical"
    ]
  },
  {
    "from": "warning",
    "to": [
      "indeterminate",
      "normal",
      "critical"
    ]
  },
  {
    "from": "critical",
    "to": [
      "indeterminate",
      "normal",
      "warning"
    ]
  }
]

```

```

],
"healthStateDetails": [
  {
    "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/2",
    "title": "SnapMirror syncing successfully",
    "detail": "All SnapMirror relationships are synchronizing as
expected."
  }
],
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```

{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}

```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	名前空間が指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
ネームスペース	array[string]	False	クラスタで使用するネームスペースのリスト。インデックスによって他のクラスタのネームスペースリストと関連付けられます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
ロール	string	False	この名前空間定義の初期の役割。このパラメータは、同一クラスタレプリケーション構成を使用する場合を除き、オプションです。定義された値は次のとおりです： • "ソース" • "デスティネーション"

storageClasses

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	ストレージクラスが指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
storageClassName	string	False	「clusterID」で指定されたクラスタ上でPVCを作成する際に使用するストレージクラスの名前。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：255

Name	を入力します	必須	説明
ロール	string	False	このストレージクラス定義の初期ロール。このパラメータは、同一クラスタレプリケーション構成を使用する場合を除き、オプションです。定義された値は次のとおりです： • "ソース" • "デスティネーション"

type_astra_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

AppMirrorリソースを変更する

PUT /accounts/{account_id}/k8s/v1/appMirrors/{appMirror_id}

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

副作用

- desiredStateに基づくさまざまな副作用。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
appMirror_id	string	path (パス)	True	リストするappMirrorコレクションのID

要求の本文

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

副作用

- desiredStateに基づくさまざまな副作用。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： 「application/astra-appMirror」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： "1.0" "1.1"
ID	string	False	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： UUIDv4スキーマに準拠
sourceAppID	string	False	ソースアプリケーションの識別子。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新されます。定義された値は次のとおりです： Astra識別子スキーマに準拠
sourceClusterID	string	False	ソースアプリケーションをホストしている管理対象クラスタの識別子。このフィールドは読み取り専用であり、ソースアプリケーションのホストクラスタに基づいて決定されます。アップデートで提供される場合、ソースアプリケーションのクラスタIDと一致する必要があるため、sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
destinationAppID	string	False	デスティネーション アプリケーションの識別子。作成時に指定することはできません。なぜなら、関係の初期化の一環として新しいアプリIDが生成されるからです。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新可能です。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
デスティネーション クラスタ ID	string	False	デスティネーション アプリケーションをホストする管理対象クラスタの識別子。作成時に必ず指定する必要があります。これは、デスティネーション アプリケーションが作成されるクラスタを決定するためです。更新時に指定される場合、デスティネーション アプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。そのため、sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	宛先アプリケーションを作成する際に使用する名前空間（または複数の名前空間）。これは、ソースアプリケーションの名前空間に対応します。各 JSON オブジェクトには「clusterID」と「namespaces」というフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタの JSON 文字列 ID で、「namespaces」の値は JSON 文字列の JSON 配列です。各クラスタには必ず 1 つの JSON オブジェクトが存在し、名前空間はインデックスによって関連付けられます。指定しない場合は、ソース クラスタの同じ名前空間がデスティネーション クラスタで使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：2

Name	を入力します	必須	説明
storageClasses	配列["storageClasses"]	False	新しい永続ボリューム要求（PVC）を作成するときにデスティネーションクラスタで使用されるストレージクラス。各JSONオブジェクトには「clusterID」と「storageClassName」のフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON文字列IDで、「storageClassName」はそのクラスタでPVCを作成する際に使用するストレージクラスです。指定されていない場合、またはクラスタに対して値が欠落している場合は、そのクラスタにはデフォルトのストレージクラスが使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：2

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	False	関係の状態。定義された値は次のとおりです： • 「establishing」 - 関係が構築されつつある。 • 「established」 - 関係が作成されます。 • 「failingOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが進行中です。 • 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが完了しました。 • 「削除中」 - 関係によって作成されたリソースがクリーンアップされています。 • 「削除済み」 - 関係が整理され、削除されました。
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： • 「establishing」 ：「established」、 「deleting」 • "established" ： "failingOver"、 "deleting" • "failingOver" ： "failedOver"、 "deleting" • "failedOver" ： "establishing"、 "deleting" • "deleting"： "deleted" • 「削除済み」：

Name	を入力します	必須	説明
stateDesired	string	False	関係の望ましい状態。作成時に有効な値は「established」のみです。定義された値は次のとおりです： 「established」 - 関係が作成されます。 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが完了しました。 「削除済み」 - 関係性は正常にクリーンアップされ、削除されました。
stateAllowed	array[string]	False	特定の状態で要求できる状態。各定義済み状態において、以下の状態を要求することができます： 「establishing」 ：「established」、 「deleted」 "established" ： "failedOver"、 "deleted" "failingOver" ： "failedOver"、 "deleted" "failedOver": "established"、 "deleted" "deleting"： "deleted" "deleted"： "削除済み"
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
transferState	string	False	現在または直近のスナップショット転送の状態。定義された値は次のとおりです： 「転送中」 - 新しいスナップショットが作成され、現在デステーション クラス タにレプリケートされています。この状態には、以前の試行で失敗し、継続的に再試行されている転送も含まれます。 「idle」 - 現在、転送処理は行われていません。
transferStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： "transferring": "idle" "idle": "transferring"
transferStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
healthState	string	False	リソースの健全性状態。定義された値は次のとおりです： 「不確定」 - リソースの状態を判断できません（例えば、接続不良のため） 「normal」 - リソースに既知の問題はなく、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できます。 「警告」：このリソースには既知の問題がありますが、インターフェース仕様に従ってサービスを提供することに支障はありません。 「重大」 - リソースに既知の問題があり、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できない
healthStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： "indeterminate" ： "normal"、"warning"、"critical" "normal" ： "indeterminate"、"warning"、"critical" "warning" ： "indeterminate"、"normal"、"critical" "critical" ： "indeterminate"、"normal"、"warning"

Name	を入力します	必須	説明
healthStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	False	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-appMirror",
  "version": "1.1",
  "stateDesired": "failedOver"
}
```

応答

Status: 204, Indicates if the appMirror resource was updated.

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディ フィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with an idempotent value.",
  "status": "409"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
}
```

```
"status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	名前空間が指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
ネームスペース	array[string]	False	クラスタで使用するネームスペースのリスト。インデックスによって他のクラスタのネームスペースリストと関連付けられます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
ロール	string	False	この名前空間定義の初期の役割。このパラメータは、同一クラスタレプリケーション構成を使用する場合を除き、オプションです。定義された値は次のとおりです： • "ソース" • "デスティネーション"

storageClasses

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	ストレージクラスが指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
storageClassName	string	False	「clusterID」で指定されたクラスタ上でPVCを作成する際に使用するストレージクラスの名前。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：255

Name	を入力します	必須	説明
ロール	string	False	このストレージクラス定義の初期ロール。このパラメータは、同一クラスタレプリケーション構成を使用する場合を除き、オプションです。定義された値は次のとおりです： • "ソース" • "デスティネーション"

type_astra_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

AppMirrorリソースを削除します

DELETE /accounts/{account_id}/k8s/v1/appMirrors/{appMirror_id}

指定されたAppMirror APIリソースを削除します。AppMirrorリソース、およびAppMirror関係の結果としてソースクラスターと宛先クラスターで作成されたリソースを非同期的に削除するプロセスを開始します。削除されるリソースは、削除時点での関係性の状態によって異なります。

副作用

- stateDesiredフィールドは「deleted」に設定されています。
- 状態フィールドは「削除中」に設定されています。
- 状態が"established"の場合、AppMirror関係によって作成されたTridentMirrorRelationshipsおよびPersistentVolumeClaimsは削除されます。
- 状態が"failedOver"の場合、AppMirror関係によって作成されたTridentMirrorRelationshipsは削除され、宛先アプリケーションのPersistentVolumeClaimsはそのまま残されます。
- 非同期削除操作が完了すると、AppMirror APIリソースは、送信元アプリケーションと宛先アプリケーションの両方から削除されます。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
appMirror_id	string	path (パス)	True	リストするappMirrorコレクションのID

応答

Status: 204, Indicates if the appMirror resource was deleted.

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

アプリ用の新しいAppMirrorリソースを作成します

POST /accounts/{account_id}/k8s/v1/apps/{app_id}/appMirrors

作成される AppMirror API リソースの希望する値を示します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例：{{.Account}}
app_id	string	path (パス)	True	含まれるアプリリソースのID

要求の本文

作成される AppMirror API リソースの希望する値を示します。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： 「application/astra-appMirror」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： "1.0" "1.1"
sourceAppID	string	True	ソースアプリケーションの識別子。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新されます。定義された値は次のとおりです： Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
デスティネーション クラスタ ID	string	True	デスティネーション アプリケーションをホストする管理対象クラスタの識別子。作成時に必ず指定する必要があります。これは、デスティネーション アプリケーションが作成されるクラスタを決定するためです。更新時に指定される場合、デスティネーション アプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。そのため、sourceAppID とdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	宛先アプリケーションを作成する際に使用する名前空間（または複数の名前空間）。これは、ソースアプリケーションの名前空間に対応します。各JSON オブジェクトには「clusterID」と「namespaces」というフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON 文字列 ID で、「namespaces」の値はJSON 文字列のJSON 配列です。各クラスタには必ず1つのJSON オブジェクトが存在し、名前空間はインデックスによって関連付けられます。指定しない場合は、ソース クラスタの同じ名前空間がデスティネーション クラスタで使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：2

Name	を入力します	必須	説明
storageClasses	配列["storageClasses"]	False	新しい永続ボリューム要求（PVC）を作成するときにデスティネーションクラスタで使用されるストレージクラス。各JSONオブジェクトには「clusterID」と「storageClassName」のフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON文字列IDで、「storageClassName」はそのクラスタでPVCを作成する際に使用するストレージクラスです。指定されていない場合、またはクラスタに対して値が欠落している場合は、そのクラスタにはデフォルトのストレージクラスが使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：2
stateDesired	string	True	関係の望ましい状態。作成時に有効な値は「established」のみです。定義された値は次のとおりです： • 「established」 - 関係が作成されます。 • 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが完了しました。 • 「削除済み」 - 関係性は正常にクリーンアップされ、削除されました。

Name	を入力します	必須	説明
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	False	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-appMirror",
  "version": "1.1",
  "sourceAppID": "efd639b6-fc92-4112-8841-0c0ab7890ae0",
  "destinationClusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
  "stateDesired": "established"
}
```

応答

Status: 201, Returns the newly created appMirror resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： 「application/astra-appMirror」

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1"
ID	string	True	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
sourceAppID	string	True	ソースアプリケーションの識別子。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新されます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
sourceClusterID	string	True	ソースアプリケーションをホストしている管理対象クラスタの識別子。このフィールドは読み取り専用であり、ソースアプリケーションのホストクラスタに基づいて決定されます。アップデートで提供される場合、ソースアプリケーションのクラスタIDと一致する必要があるため、sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
destinationAppID	string	False	デスティネーション アプリケーションの識別子。作成時に指定することはできません。なぜなら、関係の初期化の一環として新しいアプリIDが生成されるからです。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新可能です。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
デスティネーション クラスタ ID	string	True	デスティネーション アプリケーションをホストする管理対象クラスタの識別子。作成時に必ず指定する必要があります。これは、デスティネーション アプリケーションが作成されるクラスタを決定するためです。更新時に指定される場合、デスティネーション アプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。そのため、sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	宛先アプリケーションを作成する際に使用する名前空間（または複数の名前空間）。これは、ソースアプリケーションの名前空間に対応します。各 JSON オブジェクトには「clusterID」と「namespaces」というフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタの JSON 文字列 ID で、「namespaces」の値は JSON 文字列の JSON 配列です。各クラスタには必ず 1 つの JSON オブジェクトが存在し、名前空間はインデックスによって関連付けられます。指定しない場合は、ソース クラスタの同じ名前空間がデスティネーション クラスタで使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：2

Name	を入力します	必須	説明
storageClasses	配列["storageClasses"]	False	新しい永続ボリューム要求（PVC）を作成するときにデスティネーションクラスタで使用されるストレージクラス。各JSONオブジェクトには「clusterID」と「storageClassName」のフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON文字列IDで、「storageClassName」はそのクラスタでPVCを作成する際に使用するストレージクラスです。指定されていない場合、またはクラスタに対して値が欠落している場合は、そのクラスタにはデフォルトのストレージクラスが使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：2

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	関係の状態。定義された値は次のとおりです： • 「establishing」 - 関係が構築されつつある。 • 「established」 - 関係が作成されます。 • 「failingOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが進行中です。 • 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが完了しました。 • 「削除中」 - 関係によって作成されたリソースがクリーンアップされています。 • 「削除済み」 - 関係が整理され、削除されました。
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： • 「establishing」 ：「established」、 「deleting」 • "established" ： "failingOver"、 "deleting" • "failingOver" ： "failedOver"、 "deleting" • "failedOver" ： "establishing"、 "deleting" • "deleting"： "deleted" • 「削除済み」：

Name	を入力します	必須	説明
stateDesired	string	True	関係の望ましい状態。作成時に有効な値は「established」のみです。定義された値は次のとおりです： 「established」 - 関係が作成されます。 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが完了しました。 「削除済み」 - 関係性は正常にクリーンアップされ、削除されました。
stateAllowed	array[string]	False	特定の状態で要求できる状態。各定義済み状態において、以下の状態を要求することができます： 「establishing」：「established」、「deleted」 "established"："failedOver"、"deleted" "failingOver"："failedOver"、"deleted" "failedOver"："established"、"deleted" "deleting"："deleted" "deleted"："削除済み"
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
transferState	string	False	現在または直近のスナップショット転送の状態。定義された値は次のとおりです： 「転送中」 - 新しいスナップショットが作成され、現在デステーション クラスタにレプリケートされています。この状態には、以前の試行で失敗し、継続的に再試行されている転送も含まれます。 「idle」 - 現在、転送処理は行われていません。
transferStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： "transferring": "idle" "idle": "transferring"
transferStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
healthState	string	True	リソースの健全性状態。定義された値は次のとおりです： • 「不確定」 - リソースの状態を判断できません（例えば、接続不良のため） • 「normal」 - リソースに既知の問題はなく、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できます。 • 「警告」：このリソースには既知の問題がありますが、インターフェース仕様に従ってサービスを提供することに支障はありません。 • 「重大」 - リソースに既知の問題があり、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できない
healthStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	True	特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： • "indeterminate" ： "normal"、"warning"、"critical" • "normal" ： "indeterminate"、"warning"、"critical" • "warning" ： "indeterminate"、"normal"、"critical" • "critical" ： "indeterminate"、"normal"、"warning"

Name	を入力します	必須	説明
healthStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-appMirror",
  "version": "1.1",
  "id": "512c8dac-b7d4-5be9-836e-ee672965866a",
  "sourceAppID": "efd639b6-fc92-4112-8841-0c0ab7890ae0",
  "sourceClusterID": "5789e026-c2e2-41e9-ab00-9766bcfa8951",
  "destinationAppID": "cd7b6d91-fc19-4983-a754-9a7bb4d80a7b",
  "destinationClusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
  "state": "establishing",
  "stateTransitions": [
    {
      "from": "establishing",
      "to": [
        "established",
        "deleting"
      ]
    }
  ]
}
```

```

    },
    {
      "from": "established",
      "to": [
        "failingOver",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "failingOver",
      "to": [
        "failedOver",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "failedOver",
      "to": [
        "establishing",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "deleting",
      "to": [
        "deleted"
      ]
    }
  ],
  "stateDesired": "established",
  "stateAllowed": [
    "deleted"
  ],
  "stateDetails": [
    {
      "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/3",
      "title": "AppMirror is being established",
      "detail": "The AppMirror relationship is in the process of being established."
    }
  ],
  "healthState": "warning",
  "healthStateTransitions": [
    {
      "from": "indeterminate",
      "to": [

```

```

        "normal",
        "warning",
        "critical"
    ]
},
{
    "from": "normal",
    "to": [
        "indeterminate",
        "warning",
        "critical"
    ]
},
{
    "from": "warning",
    "to": [
        "indeterminate",
        "normal",
        "critical"
    ]
},
{
    "from": "critical",
    "to": [
        "indeterminate",
        "normal",
        "warning"
    ]
}
],
"healthStateDetails": [
    {
        "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/4",
        "title": "AppMirror not yet established",
        "detail": "The relationship is in the process of being
established, so it's not protecting the app data yet."
    }
],
"metadata": {
    "labels": [],
    "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディ フィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

```
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with
an idempotent value.",
  "status": "409"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",

```

```
"detail": "The requested operation isn't permitted.",
"status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	名前空間が指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
ネームスペース	array[string]	False	クラスタで使用するネームスペースのリスト。インデックスによって他のクラスタのネームスペースリストと関連付けられます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
ロール	string	False	この名前空間定義の初期の役割。このパラメータは、同一クラスタレプリケーション構成を使用する場合を除き、オプションです。定義された値は次のとおりです： • "ソース" • "デスティネーション"

storageClasses

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	ストレージクラスが指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
storageClassName	string	False	「clusterID」で指定されたクラスタ上でPVCを作成する際に使用するストレージクラスの名前。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：255

Name	を入力します	必須	説明
ロール	string	False	このストレージクラス定義の初期ロール。このパラメータは、同一クラスタレプリケーション構成を使用する場合を除き、オプションです。定義された値は次のとおりです： • "ソース" • "デスティネーション"

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列[" type_astra_label "]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

type_astra_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

アプリのAppMirrorリソースを一覧表示します

GET /accounts/{account_id}/k8s/v1/apps/{app_id}/appMirrors

コレクション内の一致するすべてのリソースのJSON配列を返します。リクエストで個別のフィールドが指定されている場合、アイテムのJSON配列には、一致する各リソースに対して要求されたフィールドが、指定された順序で含まれます。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
app_id	string	path (パス)	True	含まれるアプリリソースのID

Name	を入力します	入力	必須	説明
含める	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、どのフィールドを返すかを指定します。 URLの例 ： "include=id"、 "include=id,name" OpenAPI の例： "id"
制限（ Limit ）	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に返されるリソースの最大数を示します。 URLの例： "limit=2" OpenAPI の例： "2"
フィルタ	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、リソースを返すためにどのフィールドを一致させる必要があるかを示します。 サポートされているオペレータは次のとおりです： • eq - 等号 • lt/gt - より小さい/より大きい • lte/gte - 以下/以上 URLの例 ： "filter=field%20eq%20%27value%27" OpenAPI の例 ： 「field eq 'value'」

応答

Status: 200, Returns a JSON array of all matching resources in the collection. If individual fields are specified in the request, the items JSON array will contain the fields requested for each matching resource in

the order specified.

Name	を入力します	必須	説明
項目	配列[いずれか : "appMirror_1.1_get_res ponse_body"、配列[]]	True	
メタデータ	"type_astra_metadata_list "	True	

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-appMirrors",
  "version": "1.1",
  "items": [
    {
      "type": "application/astra-appMirror",
      "version": "1.1",
      "id": "f1c98c2e-6391-42d3-8b21-3e75dac048a3",
      "sourceAppID": "efd639b6-fc92-4112-8841-0c0ab7890ae0",
      "sourceClusterID": "5789e026-c2e2-41e9-ab00-9766bcfa8951",
      "destinationAppID": "cd7b6d91-fc19-4983-a754-9a7bb4d80a7b",
      "destinationClusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
      "namespaceMapping": [
        {
          "clusterID": "5789e026-c2e2-41e9-ab00-9766bcfa8951",
          "namespaces": [
            "ns1-src",
            "ns2-src"
          ]
        },
        {
          "clusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
          "namespaces": [
            "ns1-dest",
            "ns2-dest"
          ]
        }
      ]
    },
    {
      "state": "established",
      "stateTransitions": [
        {
          "from": "establishing",
          "to": [
            "established",
```

```

        "deleting"
    ]
},
{
    "from": "established",
    "to": [
        "failingOver",
        "deleting"
    ]
},
{
    "from": "failingOver",
    "to": [
        "failedOver",
        "deleting"
    ]
},
{
    "from": "failedOver",
    "to": [
        "establishing",
        "deleting"
    ]
},
{
    "from": "deleting",
    "to": [
        "deleted"
    ]
}
],
"stateDesired": "established",
"stateAllowed": [
    "failedOver",
    "deleted"
],
"stateDetails": [
    {
        "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/1",
        "title": "AppMirror relationship established",
        "detail": "The AppMirror relationship has been successfully
established."
    }
],
"healthState": "normal",
"healthStateTransitions": [

```

```

    {
      "from": "indeterminate",
      "to": [
        "normal",
        "warning",
        "critical"
      ]
    },
    {
      "from": "normal",
      "to": [
        "indeterminate",
        "warning",
        "critical"
      ]
    },
    {
      "from": "warning",
      "to": [
        "indeterminate",
        "normal",
        "critical"
      ]
    },
    {
      "from": "critical",
      "to": [
        "indeterminate",
        "normal",
        "warning"
      ]
    }
  ],
  "healthStateDetails": [
    {
      "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/2",
      "title": "SnapMirror syncing successfully",
      "detail": "All SnapMirror relationships are synchronizing as
expected."
    }
  ],
  "metadata": {
    "labels": [],
    "creationTimestamp": "2020-08-06T12:24:52.256624Z",
    "modificationTimestamp": "2020-08-06T12:24:52.256624Z",
    "createdBy": "11c0cfa1-4f27-4ef7-a21c-cb452fc5c9aa"
  }
}

```

```

    }
  },
  {
    "type": "application/astra-appMirror",
    "version": "1.1",
    "id": "114633f0-5b59-4bd7-adce-a9ba4423a1bd",
    "sourceAppID": "eaf8b854-211d-460a-ac18-d093d8e2ac70",
    "sourceClusterID": "fcb27b51-ebb7-40ca-b8f1-1d23ebd06889",
    "destinationAppID": "e829c5e0-750f-44ad-a684-ae85be2c2bb",
    "destinationClusterID": "fcb27b51-ebb7-40ca-b8f1-1d23ebd06889",
    "namespaceMapping": [
      {
        "clusterID": "fcb27b51-ebb7-40ca-b8f1-1d23ebd06889",
        "namespaces": [
          "app-namespace"
        ],
        "role": "source"
      },
      {
        "clusterID": "fcb27b51-ebb7-40ca-b8f1-1d23ebd06889",
        "namespaces": [
          "destination-app-namespace"
        ],
        "role": "destination"
      }
    ],
    "storageClasses": [
      {
        "storageClassName": "destination-sc",
        "clusterID": "fcb27b51-ebb7-40ca-b8f1-1d23ebd06889",
        "role": "destination"
      }
    ],
    "state": "established",
    "stateTransitions": [
      {
        "from": "establishing",
        "to": [
          "established",
          "deleting"
        ]
      },
      {
        "from": "established",
        "to": [
          "failingOver",

```

```

        "deleting"
    ]
},
{
    "from": "failingOver",
    "to": [
        "failedOver",
        "deleting"
    ]
},
{
    "from": "failedOver",
    "to": [
        "establishing",
        "deleting"
    ]
}
],
"stateDesired": "established",
"stateAllowed": [
    "failedOver",
    "deleted"
],
"stateDetails": [],
"transferState": "idle",
"transferStateTransitions": [
    {
        "from": "transferring",
        "to": [
            "idle"
        ]
    },
    {
        "from": "idle",
        "to": [
            "transferring"
        ]
    }
],
"transferStateDetails": [
    {
        "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/24",
        "title": "Snapshot replication completed",
        "detail": "A snapshot was replicated to the destination.",
        "additionalDetails": {
            "completionTime": "2023-07-06T22:46:39Z",

```

```

        "snapshotID": "ae60820d-e963-4eab-8bb3-9159e9f012f0",
        "startTime": "2023-07-06T22:46:08Z"
      }
    ],
    "healthState": "normal",
    "healthStateTransitions": [],
    "healthStateDetails": [
      {
        "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/24",
        "title": "Snapshot replication completed",
        "detail": "A snapshot was replicated to the destination.",
        "additionalDetails": {
          "completionTime": "2023-07-06T22:46:39Z",
          "snapshotID": "ae60820d-e963-4eab-8bb3-9159e9f012f0",
          "startTime": "2023-07-06T22:46:08Z"
        }
      }
    ],
    "metadata": {
      "labels": [],
      "creationTimestamp": "2023-07-06T22:45:24Z",
      "modificationTimestamp": "2023-07-06T22:45:24Z",
      "createdBy": "cc420827-f968-4da7-9e72-df8a0fd52f94"
    }
  },
  "metadata": {
    "labels": [],
    "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
  }
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	名前空間が指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
ネームスペース	array[string]	False	クラスタで使用するネームスペースのリスト。インデックスによって他のクラスタのネームスペースリストと関連付けられます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
ロール	string	False	この名前空間定義の初期の役割。このパラメータは、同一クラスタレプリケーション構成を使用する場合を除き、オプションです。定義された値は次のとおりです： • "ソース" • "デスティネーション"

storageClasses

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	ストレージクラスが指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
storageClassName	string	False	「clusterID」で指定されたクラスタ上でPVCを作成する際に使用するストレージクラスの名前。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：255
ロール	string	False	このストレージクラス定義の初期ロール。このパラメータは、同一クラスタレプリケーション構成を使用する場合を除き、オプションです。定義された値は次のとおりです： • "ソース" • "デスティネーション"

type_astra_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

appMirror_1.1_get_response_body

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • 「application/astra-appMirror」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1"
ID	string	True	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
sourceAppID	string	True	ソースアプリケーションの識別子。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新されます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
sourceClusterID	string	True	ソースアプリケーションをホストしている管理対象クラスタの識別子。このフィールドは読み取り専用であり、ソースアプリケーションのホストクラスタに基づいて決定されます。アップデートで提供される場合、ソースアプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。そのため、sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
destinationAppID	string	False	デスティネーションアプリケーションの識別子。作成時に指定することはできません。なぜなら、関係の初期化の一環として新しいアプリIDが生成されるからです。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新可能です。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
デスティネーション クラスタ ID	string	True	デスティネーション アプリケーションをホストする管理対象クラスタの識別子。作成時に必ず指定する必要があります。これは、デスティネーション アプリケーションが作成されるクラスタを決定するためです。更新時に指定される場合、デスティネーション アプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。ため、sourceAppID と destinationAppID を入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： • Astra 識別子スキーマに準拠
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	宛先アプリケーションを作成する際に使用する名前空間（または複数の名前空間）。これは、ソースアプリケーションの名前空間に対応します。各 JSON オブジェクトには「clusterID」と「namespaces」というフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタの JSON 文字列 ID で、「namespaces」の値は JSON 文字列の JSON 配列です。各クラスタには必ず 1 つの JSON オブジェクトが存在し、名前空間はインデックスによって関連付けられます。指定しない場合は、ソース クラスタの同じ名前空間がデスティネーション クラスタで使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：2

Name	を入力します	必須	説明
storageClasses	配列["storageClasses"]	False	新しい永続ボリューム要求（PVC）を作成するときにデスティネーションクラスタで使用されるストレージクラス。 各JSONオブジェクトには「clusterID」と「storageClassName」のフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON文字列IDで、「storageClassName」はそのクラスタでPVCを作成する際に使用するストレージクラスです。指定されていない場合、またはクラスタに対して値が欠落している場合は、そのクラスタにはデフォルトのストレージクラスが使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：2

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	関係の状態。定義された値は次のとおりです： • 「establishing」 - 関係が構築されつつある。 • 「established」 - 関係が作成されます。 • 「failingOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが進行中です。 • 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが完了しました。 • 「削除中」 - 関係によって作成されたリソースがクリーンアップされています。 • 「削除済み」 - 関係が整理され、削除されました。
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： • 「establishing」 ：「established」、 「deleting」 • "established" ："failingOver"、"deleting" • "failingOver" ："failedOver"、"deleting" • "failedOver" ："establishing"、"deleting" • "deleting" : "deleted" • 「削除済み」：

Name	を入力します	必須	説明
stateDesired	string	True	関係の望ましい状態。作成時に有効な値は「established」のみです。定義された値は次のとおりです： • 「established」 - 関係が作成されます。 • 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが完了しました。 • 「削除済み」 - 関係性は正常にクリーンアップされ、削除されました。
stateAllowed	array[string]	False	特定の状態で要求できる状態。各定義済み状態において、以下の状態を要求することができます： • 「establishing」 ：「established」、 「deleted」 • "established" ： "failedOver"、 "deleted" • "failingOver" ： "failedOver"、 "deleted" • "failedOver": "established"、 "deleted" • "deleting" : "deleted" • "deleted" : "削除済み"
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
transferState	string	False	現在または直近のスナップショット転送の状態。定義された値は次のとおりです： • 「転送中」 - 新しいスナップショットが作成され、現在デスティネーション クラスタにレプリケートされています。この状態には、以前の試行で失敗し、継続的に再試行されている転送も含まれます。 • 「idle」 - 現在、転送処理は行われていません。
transferStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： • "transferring": "idle" • "idle": "transferring"
transferStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
healthState	string	True	リソースの健全性状態。定義された値は次のとおりです： • 「不確定」 - リソースの状態を判断できません（例えば、接続不良のため） • 「normal」 - リソースに既知の問題はなく、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できます。 • 「警告」：このリソースには既知の問題がありますが、インターフェース仕様に従ってサービスを提供することに支障はありません。 • 「重大」 - リソースに既知の問題があり、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できない
healthStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	True	特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： • "indeterminate" ： "normal"、 "warning"、 "critical" • "normal" ： "indeterminate"、 "warning"、 "critical" • "warning" ： "indeterminate"、 "normal"、 "critical" • "critical" ： "indeterminate"、 "normal"、 "warning"

Name	を入力します	必須	説明
healthStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

type_astra_metadata_list

Name	を入力します	必須	説明
続行	string	False	
カウント	番号	False	
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前

Name	を入力します	必須	説明
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

アプリのAppMirrorリソースを取得する

GET /accounts/{account_id}/k8s/v1/apps/{app_id}/appMirrors/{appMirror_id}

JSON レスポンスボディに保存されている AppMirror API リソースを返します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
app_id	string	path (パス)	True	含まれるアプリリソースのID
appMirror_id	string	path (パス)	True	リストするappMirrorコレクションのID

応答

Status: 200, Returns the stored AppMirror API resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： 「application/astra-appMirror」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： "1.0" "1.1"

Name	を入力します	必須	説明
ID	string	True	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
sourceAppID	string	True	ソースアプリケーションの識別子。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新されます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
sourceClusterID	string	True	ソースアプリケーションをホストしている管理対象クラスタの識別子。このフィールドは読み取り専用であり、ソースアプリケーションのホストクラスタに基づいて決定されます。アップデートで提供される場合、ソースアプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
destinationAppID	string	False	デスティネーションアプリケーションの識別子。作成時に指定することはできません。なぜなら、関係の初期化の一環として新しいアプリIDが生成されるからです。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新可能です。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
デスティネーション クラスタ ID	string	True	デスティネーション アプリケーションをホストする管理対象クラスタの識別子。作成時に必ず指定する必要があります。これは、デスティネーション アプリケーションが作成されるクラスタを決定するためです。更新時に指定される場合、デスティネーション アプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。そのため、sourceAppID とdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	宛先アプリケーションを作成する際に使用する名前空間（または複数の名前空間）。これは、ソースアプリケーションの名前空間に対応します。各JSON オブジェクトには「clusterID」と「namespaces」というフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON 文字列 ID で、「namespaces」の値はJSON 文字列のJSON 配列です。各クラスタには必ず1つのJSON オブジェクトが存在し、名前空間はインデックスによって関連付けられます。指定しない場合は、ソース クラスタの同じ名前空間がデスティネーション クラスタで使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：2

Name	を入力します	必須	説明
storageClasses	配列["storageClasses"]	False	新しい永続ボリューム要求（PVC）を作成するときにデスティネーションクラスタで使用されるストレージクラス。各JSONオブジェクトには「clusterID」と「storageClassName」のフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON文字列IDで、「storageClassName」はそのクラスタでPVCを作成する際に使用するストレージクラスです。指定されていない場合、またはクラスタに対して値が欠落している場合は、そのクラスタにはデフォルトのストレージクラスが使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：2

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	関係の状態。定義された値は次のとおりです： • 「establishing」 - 関係が構築されつつある。 • 「established」 - 関係が作成されます。 • 「failingOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが進行中です。 • 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが完了しました。 • 「削除中」 - 関係によって作成されたリソースがクリーンアップされています。 • 「削除済み」 - 関係が整理され、削除されました。
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： • 「establishing」 ：「established」、「deleting」 • "established" ："failingOver"、"deleting" • "failingOver" ："failedOver"、"deleting" • "failedOver" ："establishing"、"deleting" • "deleting"："deleted" • 「削除済み」：

Name	を入力します	必須	説明
stateDesired	string	True	関係の望ましい状態。作成時に有効な値は「established」のみです。定義された値は次のとおりです： 「established」 - 関係が作成されます。 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが完了しました。 「削除済み」 - 関係性は正常にクリーンアップされ、削除されました。
stateAllowed	array[string]	False	特定の状態で要求できる状態。各定義済み状態において、以下の状態を要求することができます： 「establishing」：「established」、「deleted」 "established"："failedOver"、"deleted" "failingOver"："failedOver"、"deleted" "failedOver"："established"、"deleted" "deleting"："deleted" "deleted"："削除済み"
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
transferState	string	False	現在または直近のスナップショット転送の状態。定義された値は次のとおりです： 「転送中」 - 新しいスナップショットが作成され、現在デステーション クラス タにレプリケートされています。この状態には、以前の試行で失敗し、継続的に再試行されている転送も含まれます。 「idle」 - 現在、転送処理は行われていません。
transferStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： "transferring": "idle" "idle": "transferring"
transferStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
healthState	string	True	リソースの健全性状態。定義された値は次のとおりです： • 「不確定」 - リソースの状態を判断できません（例えば、接続不良のため） • 「normal」 - リソースに既知の問題はなく、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できます。 • 「警告」：このリソースには既知の問題がありますが、インターフェース仕様に従ってサービスを提供することに支障はありません。 • 「重大」 - リソースに既知の問題があり、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できない
healthStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	True	特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： • "indeterminate" ： "normal"、"warning"、"critical" • "normal" ： "indeterminate"、"warning"、"critical" • "warning" ： "indeterminate"、"normal"、"critical" • "critical" ： "indeterminate"、"normal"、"warning"

Name	を入力します	必須	説明
healthStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	True	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-appMirror",
  "version": "1.1",
  "id": "512c8dac-b7d4-5be9-836e-ee672965866a",
  "sourceAppID": "efd639b6-fc92-4112-8841-0c0ab7890ae0",
  "sourceClusterID": "5789e026-c2e2-41e9-ab00-9766bcfa8951",
  "destinationAppID": "cd7b6d91-fc19-4983-a754-9a7bb4d80a7b",
  "destinationClusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
  "namespaceMapping": [
    {
      "clusterID": "5789e026-c2e2-41e9-ab00-9766bcfa8951",
      "namespaces": [
        "ns1-src",
        "ns2-src"
      ]
    }
  ],
}
```

```

    {
      "clusterID": "c5d023a9-4061-4a8a-bfbf-3be11ff06226",
      "namespaces": [
        "ns1-dest",
        "ns2-dest"
      ]
    }
  ],
  "state": "established",
  "stateTransitions": [
    {
      "from": "establishing",
      "to": [
        "established",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "established",
      "to": [
        "failingOver",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "failingOver",
      "to": [
        "failedOver",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "failedOver",
      "to": [
        "establishing",
        "deleting"
      ]
    },
    {
      "from": "deleting",
      "to": [
        "deleted"
      ]
    }
  ],
  "stateDesired": "established",

```

```

"stateAllowed": [
  "failedOver",
  "deleted"
],
"stateDetails": [
  {
    "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/1",
    "title": "AppMirror relationship established",
    "detail": "The AppMirror relationship has been successfully
established."
  }
],
"healthState": "normal",
"healthStateTransitions": [
  {
    "from": "indeterminate",
    "to": [
      "normal",
      "warning",
      "critical"
    ]
  },
  {
    "from": "normal",
    "to": [
      "indeterminate",
      "warning",
      "critical"
    ]
  },
  {
    "from": "warning",
    "to": [
      "indeterminate",
      "normal",
      "critical"
    ]
  },
  {
    "from": "critical",
    "to": [
      "indeterminate",
      "normal",
      "warning"
    ]
  }
]

```

```

],
"healthStateDetails": [
  {
    "type": "https://astra.netapp.io/stateDetails/2",
    "title": "SnapMirror syncing successfully",
    "detail": "All SnapMirror relationships are synchronizing as
expected."
  }
],
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```

{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}

```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	名前空間が指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
ネームスペース	array[string]	False	クラスタで使用するネームスペースのリスト。インデックスによって他のクラスタのネームスペースリストと関連付けられます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
ロール	string	False	この名前空間定義の初期の役割。このパラメータは、同一クラスタレプリケーション構成を使用する場合を除き、オプションです。定義された値は次のとおりです： • "ソース" • "デスティネーション"

storageClasses

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	ストレージクラスが指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
storageClassName	string	False	「clusterID」で指定されたクラスタ上でPVCを作成する際に使用するストレージクラスの名前。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：255

Name	を入力します	必須	説明
ロール	string	False	このストレージクラス定義の初期ロール。このパラメータは、同一クラスタレプリケーション構成を使用する場合を除き、オプションです。定義された値は次のとおりです： • "ソース" • "デスティネーション"

type_astra_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

アプリのAppMirrorリソースを変更する

PUT /accounts/{account_id}/k8s/v1/apps/{app_id}/appMirrors/{appMirror_id}

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

副作用

- desiredStateに基づくさまざまな副作用。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
app_id	string	path (パス)	True	含まれるアプリリソースのID
appMirror_id	string	path (パス)	True	リストするappMirrorコレクションのID

要求の本文

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

副作用

- desiredStateに基づくさまざまな副作用。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • 「application/astra-appMirror」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1"
ID	string	False	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
sourceAppID	string	False	ソースアプリケーションの識別子。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新されます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
sourceClusterID	string	False	ソースアプリケーションをホストしている管理対象クラスタの識別子。このフィールドは読み取り専用であり、ソースアプリケーションのホストクラスタに基づいて決定されます。アップデートで提供される場合、ソースアプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
destinationAppID	string	False	デスティネーション アプリケーションの識別子。作成時に指定することはできません。なぜなら、関係の初期化の一環として新しいアプリIDが生成されるからです。sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替えた場合にのみ更新可能です。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
デスティネーション クラスタ ID	string	False	デスティネーション アプリケーションをホストする管理対象クラスタの識別子。作成時に必ず指定する必要があります。これは、デスティネーション アプリケーションが作成されるクラスタを決定するためです。更新時に指定される場合、デスティネーション アプリケーションのクラスタIDと一致する必要があります。そのため、sourceAppIDとdestinationAppIDを入れ替える場合にのみ変更できます。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
namespaceMapping	配列 ["namespaceMapping"]	False	宛先アプリケーションを作成する際に使用する名前空間（または複数の名前空間）。これは、ソースアプリケーションの名前空間に対応します。各 JSON オブジェクトには「clusterID」と「namespaces」というフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタの JSON 文字列 ID で、「namespaces」の値は JSON 文字列の JSON 配列です。各クラスタには必ず 1 つの JSON オブジェクトが存在し、名前空間はインデックスによって関連付けられます。指定しない場合は、ソース クラスタの同じ名前空間がデスティネーション クラスタで使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：2

Name	を入力します	必須	説明
storageClasses	配列["storageClasses"]	False	新しい永続ボリューム要求（PVC）を作成するときにデスティネーションクラスタで使用されるストレージクラス。各JSONオブジェクトには「clusterID」と「storageClassName」のフィールドが含まれており、「clusterID」の値はソースまたはデスティネーション クラスタのJSON文字列IDで、「storageClassName」はそのクラスタでPVCを作成する際に使用するストレージクラスです。指定されていない場合、またはクラスタに対して値が欠落している場合は、そのクラスタにはデフォルトのストレージクラスが使用されます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：0 • 最大長さ：2

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	False	関係の状態。定義された値は次のとおりです： • 「establishing」 - 関係が構築されつつある。 • 「established」 - 関係が作成されます。 • 「failingOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが進行中です。 • 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーション クラスタへのフェイルオーバーが完了しました。 • 「削除中」 - 関係によって作成されたリソースがクリーンアップされています。 • 「削除済み」 - 関係が整理され、削除されました。
stateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： • 「establishing」 ：「established」、 「deleting」 • "established" ： "failingOver"、 "deleting" • "failingOver" ： "failedOver"、 "deleting" • "failedOver" ： "establishing"、 "deleting" • "deleting"： "deleted" • 「削除済み」：

Name	を入力します	必須	説明
stateDesired	string	False	関係の望ましい状態。作成時に有効な値は「established」のみです。定義された値は次のとおりです： • 「established」 - 関係が作成されます。 • 「failedOver」 - アプリケーションのデスティネーションクラスタへのフェイルオーバーが完了しました。 • 「削除済み」 - 関係性は正常にクリーンアップされ、削除されました。
stateAllowed	array[string]	False	特定の状態で要求できる状態。各定義済み状態において、以下の状態を要求することができます： • 「establishing」 ：「established」、 「deleted」 • "established" ： "failedOver"、 "deleted" • "failingOver" ： "failedOver"、 "deleted" • "failedOver": "established"、 "deleted" • "deleting"： "deleted" • "deleted"： "削除済み"
stateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： • 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
transferState	string	False	現在または直近のスナップショット転送の状態。定義された値は次のとおりです： 「転送中」 - 新しいスナップショットが作成され、現在デステーション クラス タにレプリケートされています。この状態には、以前の試行で失敗し、継続的に再試行されている転送も含まれます。 「idle」 - 現在、転送処理は行われていません。
transferStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： "transferring": "idle" "idle": "transferring"
transferStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0

Name	を入力します	必須	説明
healthState	string	False	リソースの健全性状態。定義された値は次のとおりです： ・「不確定」 - リソースの状態を判断できません（例えば、接続不良のため） ・「normal」 - リソースに既知の問題はなく、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できます。 ・「警告」：このリソースには既知の問題がありますが、インターフェース仕様に従ってサービスを提供することに支障はありません。 ・「重大」 - リソースに既知の問題があり、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できない
healthStateTransitions	配列 ["type_astra_stateTransition"]	False	特定の定義済み状態からの許可された状態遷移。このリソースでは、以下の状態遷移が可能です： ・ "indeterminate" ： "normal"、"warning"、"critical" ・ "normal" ： "indeterminate"、"warning"、"critical" ・ "warning" ： "indeterminate"、"normal"、"critical" ・ "critical" ： "indeterminate"、"normal"、"warning"

Name	を入力します	必須	説明
healthStateDetails	配列 ["type_astra_stateDetail"]	False	現在の状態に関する追加の詳細情報（現在の状態に至った理由を含む）。詳細情報が利用できない場合、この配列は空になります。定義された値は次のとおりです： 最小アイテム数：0
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	False	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-appMirror",
  "version": "1.1",
  "stateDesired": "failedOver"
}
```

応答

Status: 204, Indicates if the appMirror resource was updated.

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with an idempotent value.",
  "status": "409"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
}
```

```
"status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

namespaceMapping

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	名前空間が指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
ネームスペース	array[string]	False	クラスタで使用するネームスペースのリスト。インデックスによって他のクラスタのネームスペースリストと関連付けられます。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • DNS 1123 Label Schemaに準拠
ロール	string	False	この名前空間定義の初期の役割。このパラメータは、同一クラスタレプリケーション構成を使用する場合を除き、オプションです。定義された値は次のとおりです： • "ソース" • "デスティネーション"

storageClasses

Name	を入力します	必須	説明
clusterID	string	False	ストレージクラスが指定されているクラスタの識別子。定義された値は次のとおりです： • Astra識別子スキーマに準拠
storageClassName	string	False	「clusterID」で指定されたクラスタ上でPVCを作成する際に使用するストレージクラスの名前。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：255

Name	を入力します	必須	説明
ロール	string	False	このストレージクラス定義の初期ロール。このパラメータは、同一クラスタレプリケーション構成を使用する場合を除き、オプションです。定義された値は次のとおりです： • "ソース" • "デスティネーション"

type_astra_stateTransition

Name	を入力します	必須	説明
-	string	True	
-	array[string]	True	

additionalDetails

type_astra_stateDetail

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
additionalDetails	"additionalDetails"	False	

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

アプリのAppMirrorリソースを削除します

DELETE /accounts/{account_id}/k8s/v1/apps/{app_id}/appMirrors/{appMirror_id}

指定されたAppMirror APIリソースを削除します。AppMirrorリソース、およびAppMirror関係の結果としてソースクラスターと宛先クラスターで作成されたリソースを非同期的に削除するプロセスを開始します。削除されるリソースは、削除時点での関係性の状態によって異なります。

副作用

- stateDesiredフィールドは「deleted」に設定されています。
- 状態フィールドは「削除中」に設定されています。
- 状態が"established"の場合、AppMirror関係によって作成されたTridentMirrorRelationshipsおよびPersistentVolumeClaimsは削除されます。
- 状態が"failedOver"の場合、AppMirror関係によって作成されたTridentMirrorRelationshipsは削除され、宛先アプリケーションのPersistentVolumeClaimsはそのまま残されます。
- 非同期削除操作が完了すると、AppMirror APIリソースは、送信元アプリケーションと宛先アプリケーションの両方から削除されます。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
app_id	string	path (パス)	True	含まれるアプリリソースのID
appMirror_id	string	path (パス)	True	リストするappMirrorコレクションのID

応答

Status: 204, Indicates if the appMirror resource was deleted.

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。